

# やっぱり行動せねば

## 座りこみの遺族の中から声

こんどのじっとしている気がしなかった。CO・遺族要求闘争のなかで、荒尾アンニツトと三池織製の両誘致企業に働く遺族たちは、勇気をふるって起して、それぞれの工場の正門前で座りこみ。三井鉱山に抗議の思いを表明するとともに、たまたかの言葉をひく訴えました。

これは、その座りこみに参加したみんなの間から聞かれた声で、それは何よりもこんどのたたかいがどれほど人間的なものだったか、をうかがっています。次が、その声です。

毎年同じことの繰り返し。座りこみがさうさうのときは、それなるとは思わない、という人もあるが、この四回座りこみで勝ちとったものは決して少なくない。五十歳以上になって生活援助手当が打ち切れてきたのが復活したことも、そんな成果の一つ。やっぱり座りこみでねば、と思っています。

あの、カタカタいう機械の音を聞かなくて気が落ちました。二〜三日続いても、さういふもの。

座りこみはしたくない、とは余りにも虫がよすぎると思っています。要求書を出して、「よしよし」お願ひが通るほどだったら、はじめて座りこみなんてしたくない。同じ仲間の上京団を送り出して、中央でさうさう行動してさうさう思っています。



# 成果は今後の闘いに

## 広げよう、命を守る闘いの輪

三池労組は、CO・遺族協定の改定時を迎え、CO・遺族の諸要求の抜本改正の実現をめざすとともに、労災法改正にもつづく補償年金受給者の等級(一級〜三級)認定を正しく行なわせるために、八月一日より中央において、対資本(三井本店)交渉、対政府(労働省)交渉を行なってきました。中央交渉に先駆け、山元でCO・遺族要求についての大家討議を行なうとともに、遺族・CO患者、CO家族十名、患者(名)は、三井本店、労働者に対する抗議、ヒラ配布、社会党・炭労に対する要請行動を行ない、中央交渉を精力的に進め、一応の妥結をみることにしました。

その主な会社回答は、  
①CO患者の解雇については、三年間を解雇しない。遺族の福利ニユースカー、街頭ヒラ、カネの訴えなどの諸行動を進める。諸手当は現行に14・9%上積みする。  
②CO患者の退職者の治療費、生活費の一部負担については、専門委員会を検討する。  
③遺族の同工場の労働条件については、組合、会社立会いで、実態調査をする。  
④その他。

# 市政をただすために

## も、さらに行動を……

### 大牟田市長交渉に参加して

七月二十九日、私たちCO患者長は、二時間半にわたって私たちが訴える要請について、「前向きに検討し、自分で上京してでも三井鉱山に働きかける」という約束をしてもらえたのでした。それによって大牟田市長の態度は、あきれてものいへぬくらいで、いよいよのなげだしたことを感ぜず、市長にそれをつけてきてもらいました。

### 原告団消息

- 7月24日 遺族会総会。対資本闘争の強化と、具体的活動への意志統一。
- 26日 職場との交流。(官浦指導部)
- 27日 大牟田労働基準監督署へ要請行動。CO患者の症状と
- 28日 福岡労働基準局へ要請行動。(基準監督署での交渉が進展しないため)
- 29日 事業所関係にヒラ配布。大牟田市長に、支援要請行動。(遺族・CO患者の生活困窮者に生活補償を考慮するなど、五項目の実現のため、労働省や
- 30日 CO・遺族要求貫徹決起集会。終了後、ただちに座りこみにはいる。
- 31日 街頭宣伝活動。カンパ活動も同時に行う。

生活の実態を訴え、患者を格付して差別扱いすることに強く抗議する。

原告団、ニユースカーでの情宣活動。

8月1日 大牟田労働基準監督署に対する要請行動。

この日原告団、ニユースカーにより情宣活動。

上京団、労働省への要請行動。同じくその交際前にヒラ配布。

2日 職場分会との交流。(港務指導部)

原告団、ニユースカー情宣。

上京団、炭労へ要請行動。

(以下次号へ)